

「骨太のリーダーを育成する高校生のための埼玉版リベラルアーツ事業」

## 平成 29 年度実施報告書

埼玉県立川越高等学校

### 1 学校の現状と課題

#### ア 現状

生徒は、質の高い学習と学校行事・部活動等の特別活動への取組を積極的に行い両立させている。また、伝統ある校風を継承し、切磋琢磨しながら充実した学校生活を送っている。さらに、各学年が構築した進路プログラムに則り、生徒は高い目標を立て、自己実現に向かい意欲的に取り組んでいる。

#### イ 課題

- ・分掌、学年、教科等の各組織を連動させながら、授業の一層の充実や教科指導力の向上を図る必要がある。
- ・グローバル化社会でリーダーとなる資質の向上を図る必要がある。
- ・高い「志」を実現させる校内組織をさらに活性化する必要がある。
- ・情報発信をさらに積極的に行い、保護者等の期待と信頼に応える必要がある。

### 2 本校における 28 年度までの取組及びその成果と課題についての概要

#### ア 取組

「高い『志』を実現できる生徒・グローバルに活躍できる生徒を育成する」を重点目標に掲げ、指導にあたってきた。そのため、講演会や卒業生を活用した各種事業などにより、生徒一人一人の志を育成するとともに授業や自主ゼミ等を通じて学力の向上を図り、より高い志に基づく第一志望大学への現役合格率の向上を目指した進路指導を展開してきた。

#### イ 成果

- ・平成 29 年 3 月卒業生のうち、国公立大学に 90 名が現役合格するなど、大学合格の実績が向上傾向にある。

#### ウ 課題

- ・自らの力で進路を切り拓くことのできる「自立した学習者」を育成する組織的かつ系統的な取組の実践
- ・各教科におけるより質の高い授業実践と指導内容や指導方法の一層の工夫と改善
- ・家庭学習時間の増加

### 3 本年度（29 年度）の実践

#### 1) リーダー育成、学力向上に向け、外部人材を活用した講義・講演等の実践について

##### ア 講義・講演等のねらい

様々な学部・学科に在籍する卒業生を迎えて、それぞれの学部・学科で何を学び、研究できるのか、さらには、卒業後の進路（大学院・就職状況）などを聞き、進路学習の一助とする。

#### イ 講義・講演等の概要

- ・行事 「学部・学科懇談会」
- ・日時 平成29年5月20日（土）一橋大、東工大  
平成29年6月 3日（土）東大
- ・対象 全学年の希望者
- ・内容 生徒を希望大学別に、各分科会に講師（OB）を配置する。講師が自分の学部学科についての概略と魅力を説明するとともに生徒のモチベーションを刺激する方向で懇談する。

#### ウ 生徒の様子（アンケート結果等）

- ・早い年次から受験を意識する生徒が多く、特別教室が満席となり、立ち見が出るほどであった。
- ・先輩の体験談を聞き逃さぬよう、熱心にメモを取る姿が見られた。
- ・定期テストでしっかり点を取れるように勉強していくのがよいとわかった。（2年）
- ・「一個人のことで必ずしも正解ではない」ということだったが、参考になった。（2年）

### 2) 県主催の事業に参加した生徒による報告会等学校全体への波及の取組についての実践

#### ア 報告会等のねらい

「骨太のリーダーを育成する高校生のための埼玉版リベラルアーツ事業」に参加した生徒が自分の体験を報告することにより、全体でその様子を共有する。

#### イ 報告会等の概要

1年生では「学部・学科懇談会」の開会行事において、2年生では「大学合格者懇談会」の開会行事において参加した内容、感想等を発表する。

#### ウ 生徒の様子（アンケート結果等）

- ・うまく発言できるか心配していたが、周りの人に影響され、何とか意見を言うことができた。また機会があれば今度は積極的に発言したい。（アスペン古典セミナー）
- ・トップアスリートのお話を聞き、実際に使用している技術を知り、今後の練習に生かしていきたい。（トップアスリート講演会）

### 3) 他県視察について

#### ア 報告会等の概要

10月20日（金）に栃木県・茨城県の進学校を3名の教員が訪問した。学習企画部、進路指導部で検討を行ったほか、12月5日（火）に職員研修会を実施し、参加した教員から報告を行った。

#### イ 視察を踏まえた指導改善の取組または見通し

学習企画部、進路指導部で職員研修等への活用に向け検討している。これとは別に大学入試問題に関する分析会や大学入試の各教科研修会のべ22回35名が参加した。また、11月にはP後視察研修において神奈川県に進学校を訪問しており、保護者を巻き込んで教職員の授業改善への取り組みを後押ししている。

#### 4) 学校において事業5年間を見据えた組織的な進路指導体制を構築する取組について

平成29年度当初より新たな校務分掌として「学習企画部」を立ち上げ、新大学入試・新学習指導要領への対応を含めた調査・研究を行うとともに、職員研修の企画や公開授業の運営を行っている。また、進路指導部とも連携しながら、生徒に3年間の学習計画を立てさせるとともに、自身の3年後を見据えた学習指導を行っている。

#### 5) その他

##### ア くすのき宿泊研修

- ・目的 入学後すぐに行われる研修やオリエンテーション等により、本校生としての自覚を確立し、今後の高校生活の土台を築く。また、進路オリエンテーションや学習指導を行うことで、進路実現に向けた学習方法や自学自習の姿勢を身に付けさせ、団体行動を通して集団としての規律を高め、生徒相互の理解を深めてよりよい人間関係を形成する。
- ・日時 平成29年4月17日(月)～18日(火)
- ・対象 第1学年の生徒全員
- ・内容 OBの大学生が同行し、行きのバスで高校時代のことや大学での生活等について話すとともに、研修先でも分科会に分かれ、OBが学部・学科の魅力について語る。そのほか、模擬授業などに取り組む。

##### イ 大学見学会

- ・目的 実際に大学を訪れることにより、進路実現に向けた意識啓発を図る。
- ・日程 平成29年7月31日(月) 東京大学(生徒28名参加)  
平成29年7月24日(火) 一橋大学(生徒34名参加)  
平成29年8月2日(水) 東京工業大学(生徒36名参加)
- ・対象 1～3年生希望者

##### ウ 大学合格者懇談会

- ・目的 大学受験合格者を迎え、懇談会形式で合格者と2年生が直接話をする事によって、これからの1年間で計画的な進路準備をするための一助とする。
- ・日時 平成30年3月15日(木) 9:00～12:00
- ・対象 第2学年の生徒全員
- ・内容 生徒を進学希望分野ごとに分科会(第1～第10分科会)に分け、各分科会に3名程度の卒業生を講師として配置する。分科会では参加生徒を講師の数の小グループに分け、グループごとに「部活動と学習の両立」「学校の授業の活用」「センター試験対策」「2次対策、私大対策」「スランプ脱出法」等講師自身の体験をプレゼンし、生徒と懇談する。生徒は2つの分科会に参加し、レポートをまとめる。